

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

たきざわ市議会だより

第13号

平成28年8月15日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会



議会の活動を市民の皆さんに報告し、より身近な議会をめざして「議会報告会」を実施しました。今年の議会報告会は、5月23日から6月27日まで、全13会場で開催し、24自治会、200名の方々にご参加をいただきました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、9月に行われる「平成27年度歳入歳出決算審査」の場で市当局への質問や議員間で討議に活用させていただきます。

議会報告会「おでんせ会議」



地域の課題について
「元村中央にコミュニティ施設を要望」「独り暮らし高齢者の個人情報把握の仕方」「独り暮らし高齢者の議会の対応策」等が出されました。

その中から地域の重要な課題として「独り暮らし高齢者のネットワークの構築」が取り上げられました。



平成28年度の予算の内容について
「民生費の主な内容」「歳入歳出の項目説明」「陸大学の支出項目」等の質問がありました。

また、市当局と議会への「ご意見をもとに活動していただきます。今後ぜひひ機会を捉え、ご参加していただき、ご意見、ご感想をいただきたい」と思っておりますので、しくお願いいたします。



地域の課題について
「学童保育の現状、具体内性」について質問があり、その後ワークシヨップの中で地域の課題として「道路通学路問題」「高齢者の交通手段の確保」「少子化対策」等が出されました。

その中から地域の重要な課題として「少子化対策への取り組み」が取り上げられました。

報告会に参加して「議会調査内容のもっと具体的な説明が欲しい」「前回より話し合いができた、地域課題の報告が良かったのでは」とのご意見もいただきました。



地域の課題について
「高齢者対策について」「見守り以外に具体策はないか」「菓子地区のコミセン施設を要望しているが現状は」。

また、市当局へは「住民同士のコミュニケーションをはかるためにも、早期に「ミセン」を設置してほしい」等のご意見が出されました。

その中から地域の重要な課題として「菓子地区のコミュニティ施設の建設」が取り上げられました。

また、「もう少し時間があればなおよかった」「市議会と市役所、市民のつながりを多くして」とのご意見もいただきました。



地域の課題について
「特産物のPRが弱い」「や、財政状況が悪いのであれば、事業を止めて支出を抑えることも考えて」とのご意見もいただきました。



地域の課題について
「除雪体制が不備」「ごみステーションの表彰制度の対象変更」「保育施設の不備」等が出されました。

その中から地域の重要な課題として「除雪について」が取り上げられました。

また、「もう少し、身近な問題と関連づけて報告してほしい」「時間が少なく課題が多すぎると思った」とのご意見もいただきました。

平成28年度の予算の内容について
「民生費の主な内容」「歳入歳出の項目説明」「陸大学の支出項目」等の質問がありました。

また、市当局と議会への「ご意見をもとに活動していただきます。今後ぜひひ機会を捉え、ご参加していただき、ご意見、ご感想をいただきたい」と思っておりますので、しくお願いいたします。

地域の課題について
「学童保育の現状、具体内性」について質問があり、その後ワークシヨップの中で地域の課題として「道路通学路問題」「高齢者の交通手段の確保」「少子化対策」等が出されました。

その中から地域の重要な課題として「少子化対策への取り組み」が取り上げられました。

報告会に参加して「議会調査内容のもっと具体的な説明が欲しい」「前回より話し合いができた、地域課題の報告が良かったのでは」とのご意見もいただきました。

地域の課題について
「高齢者対策について」「見守り以外に具体策はないか」「菓子地区のコミセン施設を要望しているが現状は」。

また、市当局へは「住民同士のコミュニケーションをはかるためにも、早期に「ミセン」を設置してほしい」等のご意見が出されました。

その中から地域の重要な課題として「菓子地区のコミュニティ施設の建設」が取り上げられました。

また、「もう少し時間があればなおよかった」「市議会と市役所、市民のつながりを多くして」とのご意見もいただきました。

地域の課題について
「特産物のPRが弱い」「や、財政状況が悪いのであれば、事業を止めて支出を抑えることも考えて」とのご意見もいただきました。

地域の課題について
「除雪体制が不備」「ごみステーションの表彰制度の対象変更」「保育施設の不備」等が出されました。

その中から地域の重要な課題として「除雪について」が取り上げられました。

また、「もう少し、身近な問題と関連づけて報告してほしい」「時間が少なく課題が多すぎると思った」とのご意見もいただきました。

地域の課題について
「除雪体制が不備」「ごみステーションの表彰制度の対象変更」「保育施設の不備」等が出されました。

その中から地域の重要な課題として「除雪について」が取り上げられました。

また、「もう少し、身近な問題と関連づけて報告してほしい」「時間が少なく課題が多すぎると思った」とのご意見もいただきました。

議決一覧(4月会議)

全員賛成で議決した議案

議案第1号	平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第1号)
-------	------------------------

賛否が分かれた議案

議案	投票結果																				賛成票数	反対票数	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	16	2

『発議』とは、議員や委員会が、議事の対象となるべき問題を議長に提出することを言います。今回の場合「陸上自衛隊岩手駐屯地の体制維持と周辺地域の環境整備を求めるべきである」という発議が議員から出されたため、議長が採決を行いました。採決の結果、賛成多数で可決となったことから、上記の内容の意見書を議会として内閣総理大臣や防衛大臣などに提出しました。

議決一覧(6月会議)

全員賛成で議決した議案

議案第6号	平成28年度滝沢市下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第8号	滝沢市乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例及び滝沢市ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正することについて
議案第9号	滝沢市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第10号	滝沢市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第11号	滝沢市交流拠点複合施設等新築工事請負変更契約の締結について
発議第1号	滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例の一部を改正することについて

賛否が分かれた議案

議案	投票結果																				賛成票数	反対票数	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	9	9
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	16	2
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	16	2
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	16	2
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	16	2
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	17	1
発議第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	9	9

議案第1号に対する討論

本議案に対して反対意見を述べます。歳入歳出それぞれ1億1003万2千円の減額であります。その多くは土木費となっております。その中でもJR小岩井駅活性化事業は、市内最後の駅前整備事業であり、地域住民の長年の悲願でありました。そのため、今年度内の事業断念は到底認められるものではありません。特にも3月の当初予算で調査事業を可決したにもかかわらず、6月の補正でこの予算を減額する事は、事業に対して何も努力しなかったに等しいと言わねばなりません。さらに多くの利用客が関わる問題でありながら議会や地域住民に十分な説明もなく、市としての説明もなかったことは、住民自治日本一を掲げている市の目標とは程遠いものがあります。また、地権者となる程度の合意が得られている状況ではありますが、事業の先延ばしにより、さまざまな弊害が生ずることが予想されます。以上の理由により、平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第2号)に反対するものであります。

発議第2号 附帯決議の内容

平成28年度滝沢市一般会計予算は、財政構造改革の中で編成された予算であったが、平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第2号)においては、特定財源が減額されるなど財源の確保が困難になったことにより、さらなる事業の見直しを余儀なくされたものである。

このような状況の中であっても、事業の延期等を行う場合には、市民生活に与える影響を十分に考慮し、市民の声や審議の過程でなされた論議、意見等を真摯に受け止め、市民への丁寧な説明を行った上で慎重に進めること。

やむを得ず延期等を行うことになった事業については、事業の継続に向け最大限の努力をすること。